

令和3年度中の秩父保健医療圏の圏域別取組状況について

秩父郡市医師会	……………	1頁
秩父郡市歯科医師会	……………	2頁
秩父郡市薬剤師会	……………	3頁
保険者協議会	……………	4頁
看護協会	……………	5頁
秩父市	……………	6頁
横瀬町	……………	7頁
皆野町	……………	8頁
長瀨町	……………	9頁
小鹿野町	……………	10頁
秩父消防本部	……………	11頁
埼玉県秩父福祉事務所	……………	12頁
埼玉県秩父保健所	……………	13頁

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和3年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。休日診療所は、日曜・祝日9時から18時、執務2名体制で対応している。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR検査センター、診療・検査医療機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
 - ・新型コロナウイルス中和抗体薬、内服薬の圏域内各医療機関での投与体制の確立。
 - ・新型コロナウイルス後遺症外来の圏域内設置準備。
- ③ 地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ④ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑤ 1市4町の実務者と医師会役員が一堂に会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置し、成果を挙げている。
- ⑥ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。
特に在宅緩和ケア体制への構築に向けての研修会等開催した。
- ⑦ ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
 - ・ACP人生会議普及啓発事業に派遣する講師の人材バンクへ協力
- ⑧ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑨ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑩ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。

- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。特に令和3年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、冬季発熱者の減少に努めた。
- ⑫ 新型コロナワクチン予防接種事業として
- ・ 1市4町と協力しながら、地域を分けずに秩父地域内であればどこでも接種可能な秩父方式として実施。
 - ・ 各医療機関における個別接種ばかりでなく、行政の集団接種（5か所）への医師、看護師の派遣を行った。また医師会館（休日診療所）を接種会場として毎日曜日、土曜日に一般住民、エッセンシャルワーカー、医療従事者への接種を行った。
 - ・ 新型コロナウイルス陽性者に対する自宅療養支援体制による健康観察、往診の実施。
 - ・ 新型コロナワクチン予防接種健康被害調査委員会への参画。
- ⑬ 災害医療等に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会等へ参画している。
- ⑭ 地域住民への健康啓蒙活動を、講演の他、ホームページ、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種推進について、特に力を入れた。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市歯科医師会

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
地域病院と連携し、口腔アセスメントおよび管理の実施
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため一般向けパンフレット等の配布、講演会等の事業を実施
 - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
 - ・健康まつり会場での健診・歯科相談の実施
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・ちちぶ医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への委員派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市薬剤師会

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会、茶話会）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会開催
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）へ参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局（第2、第4日曜日）

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 保険者協議会（秩父市保険年金課）

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■生活習慣病予防及び重症化防止対策の推進

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。昨年同様コロナ禍による制約を受けるなかで、感染拡大防止対策を講じながら保健事業を実施しました。

○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上、小鹿野町は35歳以上の若年層も視野に入れ、被保険者の特定健診及び特定保健指導を実施し健康管理の促進を図っています。また、各医療機関にご協力いただきながら診療情報提供事業の実施や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。

対象者へのアンケートや受診勧奨通知の発送、特に皆野町は、AI（人工知能）を用いて健診データ等を解析、対象者をタイプ別に細分化し、特性に基づいた行動変容を促すメッセージで受診勧奨を行いました。

○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀬町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック受診費用の一部を補助しています。

○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。昨年度の中間評価を基に、健康寿命の延伸に向け効果的な保健事業に取り組んでいます。

○後期高齢者健康診査の実施（フレイル予防対策）

後期高齢者医療では、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組（フレイル予防対策）

高齢者の心身の多様な課題に対応するため、介護予防に関する支援事業と保健事業の一体的な実施を進めています。医療専門職による通いの場（地域活動）での健康教育や健康相談、運動指導、また、皆野町の転倒ハイリスク者への訪問指導や横瀬町の高血圧者への食事指導など、健診データを活用した個別支援によるフレイル予防指導や疾病の重症化予防などに取り組んでいます。

○糖尿病性腎症重症化予防事業。

特定健診の結果HbA1c 6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨、また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

○健康ポイント事業の実施

健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする健康マイレージ事業を進めています。

- ・埼玉県コバトン健康マイレージ（ウォーキングにより健康増進を図る。）
- ・各市・町独自の健康ポイント事業（健康診査、がん検診、健康教室等への参加等により健康増進を図る。）

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 看護協会

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【看護・介護人材の確保促進の推進】

* 埼玉県看護協会では

1. ナースセンター

- ・ 看護師 准看護師 保健師 助産師で仕事に就いていない人の届出業務
- ・ ハローワーク巡回就業相談
秩父を含む県内8箇所のハローワークで、看護職の資格を持つ相談員が個別の相談を実施
- ・ 再就業技術講習会
潜在看護職に対して、最近の看護や知識、技術を体験し再就業のステップとなるように講習会を実施
- ・ 進路相談
将来看護師の道に進みたい学生、社会人を対象として実施

2. 埼玉県教育局推進「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」から埼玉県看護協会「看護の出前授業」として実施

秩父市内小学校の1校 6年生27名に対して

「いのちの大切さ」「看護師の仕事」等に対して講演会を実施

看護師の仕事紹介、看護師への道の説明

聴診器やパルスオキシメーターを使って、「いのち」を実感してもらう

* 秩父地域看護師会では

- ・ 定期的に会議を開催し、情報交換を実施（今年度はコロナ対応が主な議題となった）
その他、スムーズな転院調整ができるよう情報共有を適宜実施
- ・ 秩父看護専門学校とは、コロナ感染症が蔓延していても、できるだけ病院実習を受け入れていけるために相談や調整を行っていた

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に対して財政支援、また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設のため秩父郡市薬剤師会に対して財政支援を行い、診療所医師による初期救急診療への支援や病院勤務医・スタッフの負担軽減、医療スタッフの増員、患者の利便性の向上を図ることができた。

病院や地域の診療所などで活躍できる総合診療専門医を養成するために立ち上げた、総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」への応募者2名（プログラム制1名、カリキュラム制1名）の採用を決定し令和4年4月から研修を開始する予定。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【ちちぶ版地域包括ケアシステム（ちちぶいきあいシステム）の推進】

「地域包括ケア」の住民周知について、コミュニティラジオ番組「人生いきいきあうラジオ」を毎週1回放送、「人生会議」についての研修会を地域を回り年間8回開催した。また、人生の最終段階における医療ケアを担う人材育成及び連携体制構築に関しての研修会を年間6回開催し、地域の専門職の資質向上を図った。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

がん検診の受診率向上のため、新型コロナウイルス感染を心配した受診控えのリスクについて周知する他、勧奨通知の送付、協会けんぽ組合の特定健診と同日実施などを行った。

また、医師会、市立病院と連携した「糖尿病腎症重症化予防事業」に取り組み、保健師・管理栄養士による生活訪問指導を実施することで、人工透析への移行防止に努めた。

【MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進】

世界的なパンデミックにより、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種が、予防接種法の臨時接種に位置付けられた。それを受け、秩父地域の1市4町で連携し、新型コロナウイルスワクチンの接種体制を構築した。

接種率の向上を図るため、予約システム等を一体運営し、住所地外接種の申請を不要とした地域内の医療機関での接種を可能とし、初回接種は87%を超えた接種率となっている(令和4年1月末時点)。

引き続き、追加接種および小児の接種体制の整備を図り、ワクチン接種の推進に努めている。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

横 瀬 町

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

（1）特定健診・がん検診受診率向上の取組み

○インセンティブを提供する「横瀬町わくわくポイント事業」に取り組みながら、健（検）診を実施した。特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。また、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

●主な検診 特定健診 令和元年度 45.2%→ 令和2年度 38.9%→ 令和3年度 39.0%（見込み）
受診率 大腸がん検診 令和元年度 11.7%→ 令和2年度 11.5%→ 令和3年度 12.6%（見込み）
胃がん検診 令和元年度 5.0%→ 令和2年度 4.2%→ 令和3年度 4.8%（見込み）

○事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した方にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。（送付件数 50 件）

（2）埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始から5年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。事業参加を呼びかけるため、ウォーキング教室（上級・初中級）を実施し、また、健（検）診時や広報紙で啓発を行った。

申込者数（令和4年1月末現在）：471人

（3）糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。（対象者 61 人）

（4）歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。

◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。（全6回：隔月）

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「こころいきいきセミナー」を1月31日、2月10日の2回開催。

その他、がん検診受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や広報等を通じて啓発を行った。

◎子育て支援事業の取組

（1）母子保健事業の充実

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として保健師等の専門職を配置し、切れ目のない相談支援事業を実施した。今年度もコロナ禍において、感染予防対策をとりながらの実施となったため、乳幼児健康相談は、赤ちゃんなんでも相談室とちびっこなんでも相談室に分けて実施した。乳幼児健診も、昨年度同様実施回数を増やし参加人数を制限しながら実施した。そのほか、安心して子育てができる支援体制の強化を目的として、助産師・保健師等の多職種による相談事業（赤ちゃんくらす）を実施した。また、子育てアプリ「よこハグ」を活用し、妊娠期の記録や出産、育児の記録、予防接種スケジュールの管理などがアプリででき、育児の負担軽減に役立っている。新生児聴覚検査費用、産後健康診査費用及び乳房ケアに係る費用の一部を助成する事業等、経済的支援も継続して実施した。

（2）小児科・産婦人科オンライン相談事業の実施

妊娠中や子育て中の方々の不安感を軽減し、妊娠期（産前・産後）から子育て期（0歳～15歳のお子さんがあるご家庭）にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、スマホ等からテレビ電話やチャット等により、無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を実施した。また、いつでも相談としてウェブサイトから質問を送ると24時間以内に回答がくる事業を実施し、コロナ禍において、気軽に専門家に相談できる施策として充実を図った。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆野町

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期からの切れ目のない支援の取り組み

- ①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師が個別に相談対応する。また、毎月1回健康づくり担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師が相談支援を実施。
- ②全出生児を対象に地区担当保健師が家庭訪問を実施。

【生活習慣病対策の推進】

①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始。

令和4年1月末現在、延べ利用人数759人。

③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院・秩父市立病院）と連携した保健指導を実施。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

1. 自殺予防の取り組み

- ①自殺予防ゲートキーパー研修会の開催
「見過ごさないで大切な人の悩み」をテーマに研修会を開催。参加者数42人。
- ②児童生徒のSOSの出し方に関する教育
「SOSの出し方に関する教育」の普及啓発のため、町内の小学校に通う5・6年生、中学校全生徒及び教職員に対してリーフレットを配布。
- ③住民健診の間診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師が個別相談や家庭訪問を実施。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

長瀬町

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

（1）子育て支援体制の整備

「多世代ふれ愛ベース長瀬（平成30年度開設）」では母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談事業、ママサロン（定住自立圏事業）などを実施している。また、子育て世代包括支援センターを併設しており、町民からも子育て支援拠点として認知され、気軽に訪れることができる施設として親しまれている。

（2）母子保健事業の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で安心安全な妊娠・出産に対する精神的な負担や産後の育児等への不安、感染予防など一時的に経済的負担が大きくなっている妊産婦を支援する妊産婦応援給付金を昨年度に引き続き支給している。

また、コロナ禍での育児不安などオンラインで保健師等と相談ができる「オンラインすくすく相談」を開始している。

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

（1）はつらつポイント事業

健康づくりや介護予防事業に楽しく取り組んでいただく「はつらつポイント事業」を平成30年度から実施し、健診などの受診率向上を図っている。

（2）後期高齢者保健事業

令和2年度から健康寿命の延伸などを目的にフレイル予防を取り入れた「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る事業を開始している。

ポピュレーションアプローチでは通いの場への支援として、医療専門職派遣の充実を図っている。今年度は担当保健師が地域に出向き、町の健康課題に沿った健康教育を実施しているほか、個別介入が必要な場合は、地域包括支援センターと連携し対応している。

また、フレイルチェックを用いた健康状態の把握、体力測定、個別指導、筋骨格系疾患予防や管理栄養士や理学療法士による講話等を実施している。

なお、今年度はコロナ禍における高齢者への影響について、東京大学、文京学院大学等と連携し、アンケート調査を実施している。分析結果については、今後の事業に活かしていく。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

1. 親と子の保健医療対策

(1) 子育て支援総合相談体制と乳幼児健診の強化

子育て包括支援センター（住民生活課）では、令和3年度に助産師を配置し、他職種や地域と連携した妊娠期からの切れ目ない子育て総合相談体制を強化した。保健課では、乳幼児健診において個別相談（歯科・栄養・子育て）を実施するほか、法定健診ではない2歳・5歳児健診を実施し、子育て包括支援センター・関係機関と連携して軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を強化している。

2. 在宅医療の推進

(1) 医療と介護の協働による在宅医療の推進

人生の最期まで住み慣れた場所で自分らしい生活を続けられるよう、入院時から退院を見据えシームレスな連携を図る「地域ケア会議」や「緩和ケアカンファレンス」により、医療と介護が有機的に協働して在宅医療を推進している。「私の療養手帳」の発行数は令和2年度47冊、令和3年度は1月末現在32冊であり、在宅療養の推進に活用されている。

3. 生活習慣病対策の推進

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

身体機能の低下予防や生活習慣病の重症化予防を目的にフレイル対策を重点項目に掲げ、集団特定健診等から対象者を抽出、専門職が連携してハイリスク対象者24人に個別指導を実施し、通いの場での教育（36地区、375人）を実施した。

4. 精神医療と自殺防止対策の推進

(1) こころの相談事業の実施

自殺予防対策として全世代への普及啓発と臨床心理士によるひきこもり及びこころの相談を実施し、令和3年度は1月までに延80人の利用があった。ゲートキーパー養成講座の参加者27人を対象にゲートキーパーの集いも実施した。

5. 健康危機管理体制の整備充実

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

(2) コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

秩父郡市1市4町と秩父郡市医師会では、令和3年1月14日に新型コロナウイルス感染拡大に向けた取り組みに関する覚書を締結し、秩父地域で一体的なワクチン接種体制を構築、1月末現在の2回接種率は87.7%で、追加接種（3回目）を実施中。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1 救急自動車、救急自動車積載資器材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。
（令和3年度に実施した認定救急救命士養成の講習、実習は下記のとおり。）
 - ① 気管挿管病院実習（深谷赤十字病院）2名
 - ② ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）3名
 - ③ ビデオ喉頭鏡病院実習（深谷赤十字病院）1名
 - ④ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）4名
- 2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者に対しドクターヘリ、ドクターカー要請や管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。
- 3 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。
- 4 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）他管内病院と連携し年間の割り振りの調整を行う。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 埼玉県秩父福祉事務所

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

【在宅医療の推進】

➤ 介護人材等の確保

ひとり親家庭に対し、無利子の母子福祉資金の貸し付けを行い、秩父看護専門学校等への就学を支援した。

また、秩父地域就労相談会において、介護事業者と介護職を希望する生活保護受給者のマッチング環境を提供するとともに、ケースワーカーが会場に同行するなどきめ細やかな支援を実施した。

➤ 介護事業者の指導

介護事業者への指導や立入調査を行い、介護サービスの質の維持・向上を図った。

【生活習慣病対策の推進】

➤ 生活保護世帯に対し、経済的支援に加え、健康診査の受診や生活習慣の改善を促すとともに、必要に応じて受診勧奨を行ったり、嘱託医の助言を踏まえて頻回・重複診療防止の指導を行った。

併せて、感染症予防や熱中症予防のチラシを手交して啓発を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

➤ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、介護事業者の職員を対象に感染症対策に関する指導を行うとともに、感染防止に関する情報提供及び注意喚起を行った。

➤ 介護施設における新型コロナウイルスの集団感染が発生した際に、経過の把握を行うとともに、検査キットや防護服、衛生資材を提供するなど支援を行った。

介護事業者等を対象とした「連絡訓練」を実施し、災害時などにおける連絡体制を確認した。

【親と子の保健医療対策】

➤ 母子保護世帯への妊婦検診勧奨や、出産時の児童の一時保護利用を促すなど町、児童相談所と連携し健全な出産環境の整備に努めた。

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父保健所

令和3年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談(#7119)の周知・啓発に取り組んだ。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町を対象とした会議を開催した。

■児童生徒の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員等に対して、薬物依存に関する研修を実施し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

・国保データベースシステム活用についての研修会に市町とともに参加し、更なるデータヘルスの推進を図った。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため、会議や研修会を計画したが、コロナ禍のため中止とした。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・自死遺族のつどいを3回開催した。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・管内中高生に薬物乱用防止資材等を提供し、啓発活動を実施した。

・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努め、AAが主催するセミナーに参加した。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
・関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・令和3年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。

・保健所職員を対象に、个人防护具着脱実習を開催した。

・新型コロナウイルス感染症の医療・検査体制、自宅療養者の支援体制について、管内の医療機関、市町等との情報共有、検討を行い、連携強化体制整備に努めた。